

令和元年（2019年）12月19日

附属中2年生チームが元素のエッセイコンテストで優秀賞 ～国際イベント「国際周期表年2019」の閉会式で表彰されました～

【本件のポイント】

- 国際周期表年2019を記念して企画された「私たちの元素－エッセイコンテスト」（第2回）において、山形大学附属中学校2年生の長澤パティ瑛美さん、安井耶菜明さん、大築 友さんのチームが優秀賞を受賞
- 周期表の中から一つの元素を選び、それについてのエッセイを書いて応募するもので、チームはS(硫黄)を選択し、「科学と硫黄の化合」というタイトルで、エッセイを作成
- 12月5日に東京プリンスホテルで開催されたIYPT2019 Closing Ceremony（国際イベントとして開催される閉会式）に招待され表彰



【概要】

国際周期表年 2019 を記念し、公益社団法人日本化学会国際周期表年実行委員会が企画した「私たちの元素－エッセイコンテスト」（第2回）において、山形大学附属中学校2年生の長澤パティ瑛美（ながさわ ぱてい えみ）さん、安井耶菜明（やすい やまめ）さん、大築 友（おおつき ゆう）さんのチームが優秀賞を受賞しました。2019 年はメンデレーエフの周期律発見から 150 年目にあたることから、国連で 2019 年を「国際周期表年 2019(IYPT2019)」として祝うことが宣言され、UNESCO がその推進をリードして、世界中でさまざまなイベントなどが展開されました。このエッセイコンテストもその一つで、2019 年に2回（第1回：3月28日締め切り、第2回：9月10日締め切り）開催されました。附属中学校2年生チームの3人は、118の元素の中から「S（硫黄）」を選択して、「科学と硫黄の化合」と題したエッセイを作成。第2回目のコンテストで、見事、優秀賞（中学生の部）の一つに選ばれました。第2回目の優秀賞は、高校生の部、大学生の部では該当がなく中学生の部だけでした。

表彰式は、12月5日に東京プリンスホテルで開催された IYPT2019 Closing Ceremony（国際イベントとして開催される閉会式）で行われ、世界的な研究者ら約400人が見守る中、英語でのスピーチも披露しました。

【私たちの元素-エッセイコンテスト】 <https://iypt.jp/contest/top.html>

- (1) エッセイは、中学生の部、高校生の部、大学生の部に分けて募集します。
- (2) 3人以上のグループからの応募を受け付けます。
- (3) 中学生の部、高校生の部の場合には、クラス全体での応募も可能です。また、担任または担当教科の教員、学校長など学生の所属する学校の教員が了承していることを示す書類の提出を義務付けます。
- (4) 118元素の中から一つの元素を選び、その元素についてのエッセイを応募して下さい。エッセイの長さは5000字（句読点を含む）を上限とします。

※ Web サイトより抜粋

【受賞チームについて】

山形大学附属中学校2年 長澤パティ瑛美さん、安井 耶菜明さん、大築 友さんは、理科が好きな仲良し3人組です。昨年度、理科の授業で第1回目のコンテストを紹介されたことをきっかけに、興味をもち、応募してみたものの、残念ながら賞はもらえませんでした。今年度、第2回があるということで、昨年度の雪辱を果たそうとチャレンジしました。作品は、9月上旬から、定期テスト後の休日などを利用して10日間ほどかけて3人で作成しました。硫黄をテーマにした理由は、理科の授業で硫化鉄について学んだ時に、硫黄の持つ可能性に興味を持ったからです。また、蔵王温泉で、硫黄を身近に感じたことも理由です。

お問い合わせ

山形大学附属中学校 教諭 大沼康平
TEL 023-641-4440